

地域シンポジウム報告書（概要）

| 西部地域シンポジウム | |
|------------|---|
| 日 時 | 平成19年9月28日(金)午後7時30分～午後9時10分 |
| 場 所 | 天神児童館 |
| 参加者 | 市民 47名 |
| | 事務局： 野田館長(西部)、上岡企画員 生涯学習課～藤若課長、小川係長、三栖係長、瀬戸主査 松下主査、馬場崎主査、山下主査 |
| テーマ | 地域のことを話し合おう |

シンポジウム進行次第

| | 内 容 |
|--|---|
| | <p>開会あいさつ 西部地域の生涯学習を考える集実行委員会 委員長 野田文九男</p> <p>趣旨説明 田辺市教育委員会 生涯学習課 小川係長</p> <p>ワークショップ テーマ：「地域の課題・公民館の課題について」 「問題解決、提案等について」</p> <p>個人ワーク グループ討議 個人ワーク 意見交換と集約 報告 まとめ</p> <p>閉会あいさつ 田辺市教育委員会 生涯学習課 藤若課長</p> |

西部地域シンポジウム

日時 H.19.9.28
場所 天神児童館



地域シンポジウム報告書（班別）

西部地域シンポジウム
1班

| | 地域 | 公民館 |
|--------|--|---|
| 現状・課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・少子化、高齢化。 ・町内全体が静か。 ・人とのつながりが少ない。 ・住民のつながり。 ・ボランティア活動が少ない。 ・老人会の世話をしているが、役員の固定化が課題。 ・役員。 ・離婚問題。 ・目良団地は今後、津波の心配があり、町内会で防災について取り組んでおりますが、なお一層の参加をお願いしたい。 ・古尾地区は土地が低い。津波対策の早急な取り組みを。 ・江川大橋から、北へ車の通行量に比べ、道がせまい。 ・子供の携帯保有率や事件が気になる。 ・公園が少ない。 ・食育。 ・不登校・いじめと地域の関わり方。 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館が西部全体のものとして定着していないと感じる。 ・公民館活動を詳しくお話していただきたい。たとえば現在の活動など。 ・公民館活動の活発化。 ・公民館だよりを見るくらいで、活動実態がよく分からない。 ・祭りに参加できない。 ・見守り、挨拶運動が自然消滅。 |
| 解決策 | <ul style="list-style-type: none"> ・登校時、下校時に家の前で子供達を見守る。 ・若手リーダーの育成。 ・老人会の名称を変更する。 ・防災放送を細かく、詳しく。 ・避難場所が遠い。 ・家と家とがパートナーをくむ。 ・子ども会と老人会の交流により、名前を覚えることが第一歩。 ・交流場所がほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・手紙・お知らせが多いので、読まない、読めない。 ・インパクトがない。 |
| その他の意見 | | |

地域シンポジウム報告書（班別）

西部地域シンポジウム
2班

| | 地域 | 公民館 |
|--------|--|--|
| 現状・課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの不法投棄をなくすには。 ・車が多い。 ・白馬屋(酒屋)付近の交差点が危険である。 ・御所谷住宅整備工事を行っているが、歩道が片側しか付いていない？ ・役員の固定化、高齢化。 ・役員の高齢化を解消していくためには。 ・高齢化に伴う町運営のひずみ。 ・田辺第三小学校が大変老朽化しているので危険である。 ・田辺第三小学校の遊具。 ・津波が心配。 ・災害弱者とならないためには。 ・防災力の強化。 ・商店街さびれている。 ・子供達の外出の機会が少ない。 ・外に人が出ていない。 ・子供が少ない。 ・失業者対策。 ・西部では生涯学習をしたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動の状況が良くわからん。 ・公民館の活動が不明。 ・公民館の活動を知らない。 ・建物がない。 ・公民館の建物がほしい。 ・公民館活動に伴う資金は、決定事項の進行は可か。 ・予算、お金の裏付け。 ・公民館活動費は年間いくらですか。 ・公民館へ各町内会から補助しているにもかかわらず、町内への報告がない。 ・西部センターの活動とのちがいが不明確。 ・西部センター、児童館の中間の業務とは思いますが、主旨がわからない。 ・地域の交流を深める事業の回数を増やしてほしい。 ・地域全員(子供～老人)の触れ合いの場がない。 |
| 解決策 | <ul style="list-style-type: none"> ・道路側のポイ捨て防止のPRをする。(標識等の強化) ・町内会。 ・地域力。 ・津波、防災会。(地域) ・避難所。 ・地震、津波、高潮に関する研修会等、繰り返し実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ・顔を売る。 ・地域にとけ込んだ活動。 ・公民館駅伝のような活動。 ・主事。 ・予算。 ・子供、老人、ふれ合い。 |
| その他の意見 | | |

地域シンポジウム報告書（班別）

西部地域シンポジウム
3班

| | 地域 | 公民館 |
|--------|--|--|
| 現状・課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・田辺第三小学校の校舎が古くなってきており、かなり危険性があり子供たちが心配である。 ・子供の数が少なくなってきているので、活気がないように思う。 ・環境が変わってきて子供たちの散歩コースが変わってきている。 ・津波の避難について。 ・西部地域の防災訓練を実施してみても、西部センターと公民館の整合性についてどのように理解すればよいか。 ・江川漁港周辺があまりにも汚すぎる。 ・公園内のごみが多くて汚い。 ・近所づきあいが薄れてきている。 ・近所づきあいが、なくなってきていて、何かと不便な事がある。 ・誰がどこに住んでいるのか、この人は誰なのか等、知らない人が多くなってきている。 ・地域の色々なことについて関心がない人が多い。（自分ばっかりの人も多い） ・町内会の行事に若い人達の参加が少ない。 ・町内会等、行事ごとがあれば、世話してくれている人が固定化している。 ・参加者の高齢化及び固定化。 | <ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動への補助金が廃止された。 ・事前の広報等情報を知る機会が少ないのでは。 ・公民館のアピールをもっと考えてほしい。 ・田辺市では、文化会館での教育講演が少ないと思う。 ・参加すれば楽しいとは思いますが、重い腰をあげさず方法の検討が必要。 ・姿がはっきり見えないと言う声が多い、西部地区内の公的施設との連携を強くすべきでは！？ ・生活スタイルの変化等から、目的が多様化しているの、参加する人が少ないし、関心を持たない人が多い。 ・時間が無い。 ・公民館活動といっても、具体的に活動内容がわからない。 |
| 解決策 | <ul style="list-style-type: none"> ・田辺第三小学校を建て替えてもらう。 ・何かことが起こった時、助け合いができるよう人と人とのつながりを大切にしていきたい。 ・防災について避難訓練を近隣町内会同士から西部地域へ広げていく。 ・自分で逃げるコースを考えておくこと、時間があれば決められた場所へ。 ・意識改革しかない。 ・人を知ることが大切。 ・人とのつながりを多くする、子供活動、町内活動、運動会に参加を呼びかける。 ・近所お互いに声をかけあい、行事等への参加を呼びかける。 ・積極的な行動力が必要。 ・住んでいる人の意識改革。 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設の開放により、親子での安全な遊び場の確保をしていきたい。 ・市の出前講座の活用。 ・公民館の独自性にこだわらず、他行事への相乗り。 ・活動内容を知ってもらう。 ・年間行事計画を知らず。 ・楽しさをアピールする。 |
| その他の意見 | | |

地域シンポジウム報告書（班別）

西部地域シンポジウム
4班

| | 地域 | 公民館 |
|--------|--|---|
| 現状・課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・モラルの件。 ・ゴミの不法投棄。猫が多い。防災。山崩れ。 ・津波対策のため避難塔を作してほしい。 ・防災、特に津波時の対応。 ・防災、津波。 ・車社会なので子どもたちとのんびり散歩に出かけるのが難しい。 ・子供の遊ぶ場所が少ない。 ・子供たちに声をかけてやる。 ・少子。子どもクラブ員の減少。 ・近所付き合いがない。つきあうきっかけ少ない。 ・一人暮らしが多い。交通が不便。 ・近所が希薄。一人暮らし多い。どういった支援の在り方。 ・団体等の役員になってくれない。 ・田辺第三小学校が老朽化して心配だ。 ・若者の働く場を作してほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館。(建物) ・公民館の建物を建ててほしい。 ・公民館活動、何をしているのか分からない。 ・公民館の活動がわからない。 ・西部センターと公民館活動の連携。 ・西部公民館に予算をつけてほしい。 |
| 解決策 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練。 ・訓練。学習会。 ・大人から子供たちに声を掛けてやると、子供から声を掛けてくるようになった。 ・町内会活動の推進。(近所付き合いの推進) ・町内会に未加入の家庭に対して、行政も積極的に行動を起こしてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・田辺第三小学校又は、明洋中学校の空き教室を利用して、西部地区の公民館として利用しては。 ・既設施設の一部増改修で。 ・家庭で参加できるような行事…。公民館で…。 |
| その他の意見 | | |

地域シンポジウム報告書（班別）

西部地域シンポジウム
5班

| | 地域 | 公民館 |
|--------|--|---|
| 現状・課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・地震の際の避難道。津波が心配。防災上、古尾の土手のかさ上げを早く。 ・津波。 ・東南海地震時の津波。 ・防災の津波の問題。 ・中学校でいずれ一緒になる違う小学校に通う学生どおしのつながり。 ・田辺第三小学校の建て直し。 ・天神崎に来る観光バスの停留所がない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館のサークルは夜の時間ばかりです。昼の時間帯にしてほしい。シニア教室、夜だと歩くのに障害がある。 ・目良会館に出張できるか。 ・子育てに関するサークルを作っては。 ・公民館のしくみ。 ・活動を地域全体にアピールする。 |
| 解決策 | <ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者の把握。 ・天神崎観光の駐車場。 ・避難のための道。（目良付近） ・田辺第三小学校の新築。（プール、耐震） ・防潮堤。（尾の崎） | <ul style="list-style-type: none"> ・広報の充実＝活動費の確保。 ・公民館活動の推進体制。 ・西部センター、児童館の活動と公民館の活動を整理する。 |
| その他の意見 | | |

地域シンポジウム報告書（班別）

西部地域シンポジウム
6班

| | 地域 | 公民館 |
|--------|--|--|
| 現状・課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・一人ぐらしの高齢者のサポート。 ・野良猫の糞害。 ・津波。 ・会津川の堤防を早くしてほしい。 ・台風。 ・上の山二丁目23番地の空き地の草刈り。 ・集まりが少ない。 ・サロン活動。 ・リーダーの不足。 ・住民のつながりの希薄化。 | <ul style="list-style-type: none"> ・リフォーム教室がほしい。 ・参加者の高齢化。 ・天神崎のグラウンドがもっと使えるように。 ・遊びなら人が集まるが、教育講演会などためになる場へは人が集まらない。 ・西部公民館として今、何をしているのか知りたい。 |
| 解決策 | <ul style="list-style-type: none"> ・近所の人達が声かけをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と若い人との交流の場を持つ。 |
| その他の意見 | | |